

温泉の利用状況について

泉 質： ナトリウム－塩化物温泉（高張性 弱アルカリ性 温泉）

温泉成分の特徴： なめると塩味がします。肌についた塩分が放熱を防ぐため、保温効果が高く、湯冷えしにくい温泉です。
（分析場所：源泉）

源泉の温度及び湧出量： 41.1℃ 324リットル／分

※詳細は別紙温泉分析書のとおり（直近成分分析年月日：H30.5.31）

浴槽の種類とその状況： 露天岩風呂、高張性炭酸泉（温泉水を使用）
寝ころび湯、つぼ湯、腰掛湯、回遊風呂、
ミルキー風呂、冷水風呂、替り湯（井戸水等を使用）

循環、かけ流しの状況： 露天岩風呂上段・・・かけ流し式
（浴槽に常に新しい温泉を注入してあふれさせています。）
露天岩風呂下段、高張性炭酸泉・・・循環式
（温泉資源の保護及び浴槽内の汚れを除去するため、浴槽水を回収し、殺菌、ろ過、加温して再利用しています。）

加 水 の 状 況： なし

加 温 の 状 況： 季節により、気温の低い時に加温しています。

新湯との入れ替わり状況： 露天岩風呂上段（かけ流し式）は、3時間程度で入れ替わります。

入浴剤等の添加： 替り湯のみ入浴剤を使用。イベント風呂として不定期に、生花や柑橘等を入れています。
（詳細は、浴槽及び脱衣所等に表示）

衛生管理状況について

浴槽の清掃状況： 一週間に1回完全にお湯を抜いて、清掃・消毒を行っています。露天岩風呂上段（かけ流し式）は、毎日、完全にお湯を抜いて、清掃・消毒を行っています。

浴槽水の消毒状況： 衛生管理を確実にを行うため、塩素系薬剤を投入し、毎時間その状態を確認し、細菌の増殖を防いでいます。

水質検査の頻度： 日常的な衛生管理を行うとともに、レジオネラ属菌の防止状況の確認を行うため、年に4回実施しています。
※水質検査証は別に表示

平成30年 5月31日

施設名 嘉島湯元水春

温泉は限りある資源です。大切に使いましょう。

熊本県温泉協会